

授業科目	*小児看護方法論					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	樋口 由貴子、永野 英美、藤本 奈緒子						
授業概要	<p>小児各期の健康問題を理解し、解決のための援助・支援について学ぶ。</p> <p>また、健康障害や入院が子どもや家族に及ぼす影響とそれに対する反応を解説し、個別的な看護を実践するために必要な基礎的知識・技術・態度についての基礎知識を習得する。</p> <p>この講義は、実務家教員として病院での小児看護経験のある教員が、健康な小児、疾患や障がいのある小児に対する看護経験を踏まえ、臨床現場での事例をあげながら具体的に看護方法について講義する。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	PBL、個人ワーク、プレゼンテーション、ディスカッション				

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 小児各期に起こる健康問題を理解し、健康問題解決のための援助・支援について説明できる。 (DP1-2) 2. 各発達段階において健康生活を維持できるよう実施されている施策や対策について説明できる。 (DP1-2) 3. 子どもによく見られる症状の看護について説明できる。(DP2-1) 4. 健康障害をもった子どもや家族の反応や影響因子、それによる生活の変化を説明できる。 (DP2-1) 5. 入院による子どもや家族への影響を説明できる。 (DP3-2) 6. 健康障害をもった子どもや家族の抱える健康問題を考え、健康の維持、回復、増進のための援助方法が説明できる。(DP4-3)
理想的レベル	目標1～6の内容を総合的に理解し、適切に説明できる。さらに、関心のある小児看護の課題について調べ、看護の在り方を考察し、説明できるv

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	65%	
小テスト	0	
レポート	25%	内容は授業中に指示します
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21309J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

予習：授業内容について配付資料、テキスト、参考資料等に目を通しておく。

4

復習：本日の授業内容を振り返る。

授業計画

第1回	<p>テーマ：科目のオリエンテーションおよび小児各期の健康問題と援助・支援方法 1 乳幼児期の健康問題と援助方法について解説する。 担当：樋口由貴子</p>
第2回	<p>テーマ：小児各期の健康問題と援助・支援方法 2 学童・思春期の健康問題と援助方法について解説する。 担当：樋口由貴子</p>
第3回	<p>テーマ：小児各期の健康問題と援助・支援方法 3 小児保健システムについて解説する。 個人ワーク 担当：樋口由貴子</p>
第4回	<p>テーマ：小児各期の健康問題と援助・支援方法 4 乳幼児期及び学童・思春期の健康問題と援助方法についての個人ワーク発表。 担当：樋口由貴子</p>
第5回	<p>テーマ：健康障害と子ども、家族 健康障害が、子どもや家族に与える影響を解説する。 NICU や GCU に入院する児の特徴とその看護についても解説する。 担当：樋口由貴子</p>
第6回	<p>テーマ：外来受診・入院と子ども、家族 外来受診や入院が、子どもや家族に与える影響を解説する。 担当：樋口由貴子</p>
第7回	<p>テーマ：急性期にある子どもの看護 主に手術を受ける子どもと家族、また集中治療（PICU 含む）を受けている子どもと家族への看護について解説する。 担当：永野英美</p>
第8回	<p>テーマ：検査・処置を受ける子どもの看護 子どもが積極的に検査や処置を受けられるような支援を解説する（プレパレーションを含む）。 担当：樋口由貴子</p>
第9回	<p>テーマ：慢性期にある子どもの看護 慢性疾患を持った子どもの身体的、心理社会的特徴を踏まえ、子どもや家族への看護を解説する。 担当：樋口由貴子</p>
第10回	<p>テーマ：終末期にある子どもの看護 終末期にある子どもの身体的、心理社会的特徴を踏まえ、子どもや家族への看護を解説する。 担当：樋口由貴子</p>
第11回	<p>テーマ：テーマ：障がい児の看護（外部講師） 障がい児の特徴および看護を解説する。 担当：外部講師</p>
第12回	<p>テーマ：被虐待児と家族への看護 被虐待児（虐待を受けている可能性のある子ども）と家族への看護を解説する。 担当：外部講師</p>

第13回	<p>テーマ：小児の在宅看護、災害看護 在宅で生活する小児や家族の看護や災害時の看護について解説する。 担当：藤本奈緒子</p>
第14回	<p>テーマ：症状と看護1 子どもに見られる代表的な症状(発熱、嘔吐下痢など)について、その原因、病態、アセスメント、看護を解説する。 担当：樋口由貴子</p>
第15回	<p>テーマ：症状と看護2 子どもに見られる代表的な症状(脱水、痙攣、呼吸困難など)について、その原因、病態、アセスメント、看護を解説する。 担当：樋口由貴子</p>
テキスト	奈良間美保他：小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 第14版 医学書院、2024
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> 丸光恵他；小児看護学[2] 小児臨床看護各論 第15版、医学書院、2025 中野綾美編；ナーシング・グラフィカ 小児看護学1 小児の発達と看護、メイカ出版、2023 <p>その他、授業中に適宜紹介します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>試験及びレポート内容については、授業中に指示を出します。 レポート内容へのコメントは、授業中に全体に向けて行います。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>様々な状況や健康障害のある子どもへの援助方法を学ぶために、1, 2年で学習した知識と小児看護学概論を振り返り理解しておいてください。 健康障害をもった子どもや家族への支援を考えるというのは、イメージがつきにくい所があると思いますが、予習復習をきちんとやって積極的に授業に臨んで下さい。 また、授業の日程は、講師や実習等の都合で前後することがあります。変更は適宜お知らせします。</p>

